

第14回 青梅市公共交通協議会

サイクル&バスライドについて

平成26年10月29日

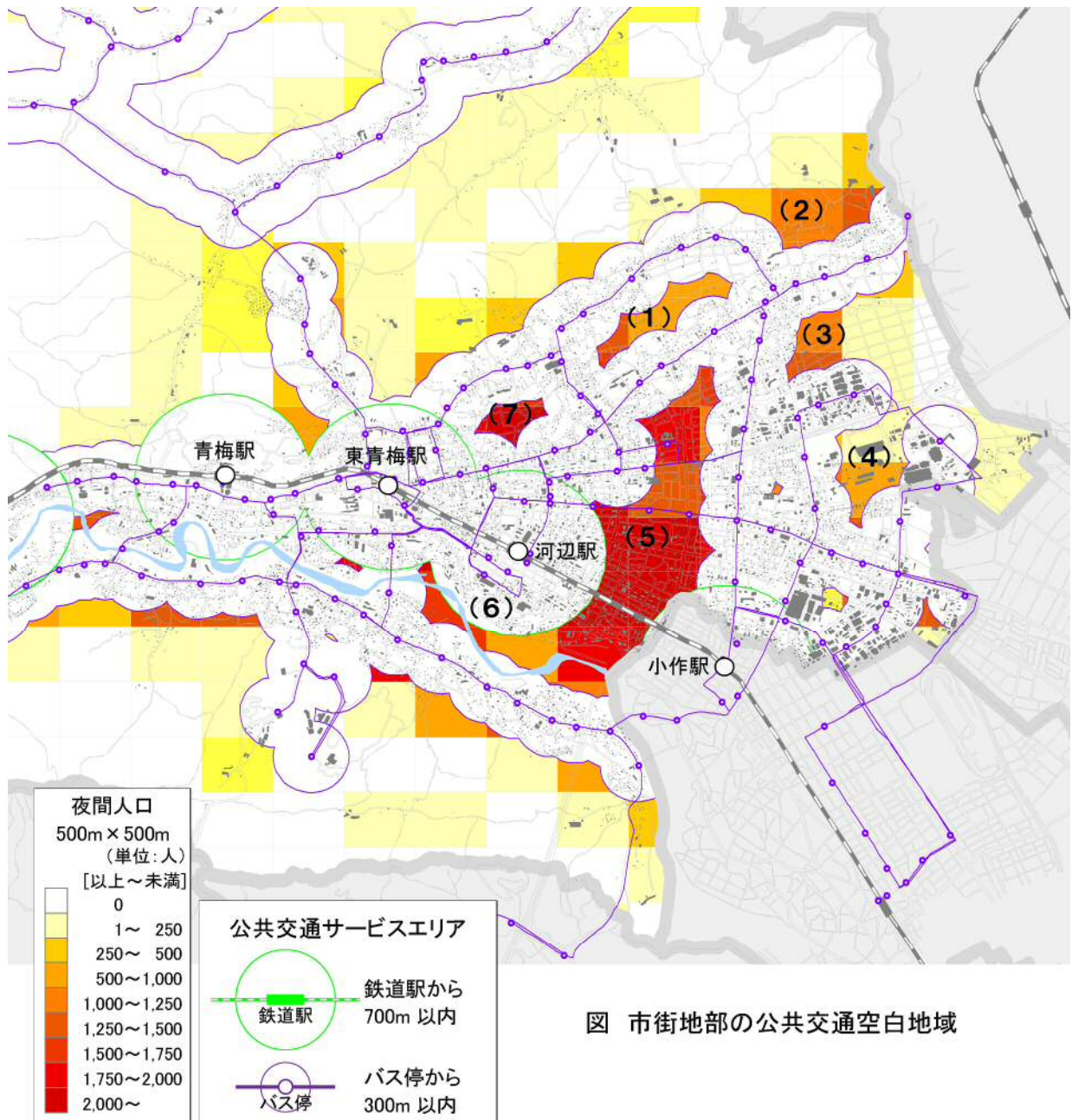
1. サイクル&バスライドの検討について

青梅市公共交通基本計画(平成25年3月)では、市街地部の公共交通空白地域の解消に向けて、バス交通を補完するための「サイクル&バスライド」の導入を検討することになっている。

今回、首都圏の他地域で実際に導入されているサイクル&バスライドの事例分析を通して、青梅市内の公共交通空白地域のうちどの部分において導入が考えられるか、適用条件の検討を行った。

【サイクル&バスライド】

バス停まで自転車で行き、バス停近くにある駐輪場に駐輪し、バスで目的地まで行く方法。自転車でバス停にアクセスできるようにすることで、徒歩によるバス停のサービス圏の拡大を図り、市街地部の公共交通空白地域の解消に寄与しようとするもの。



2. 首都圏のサイクル&バスライドの事例

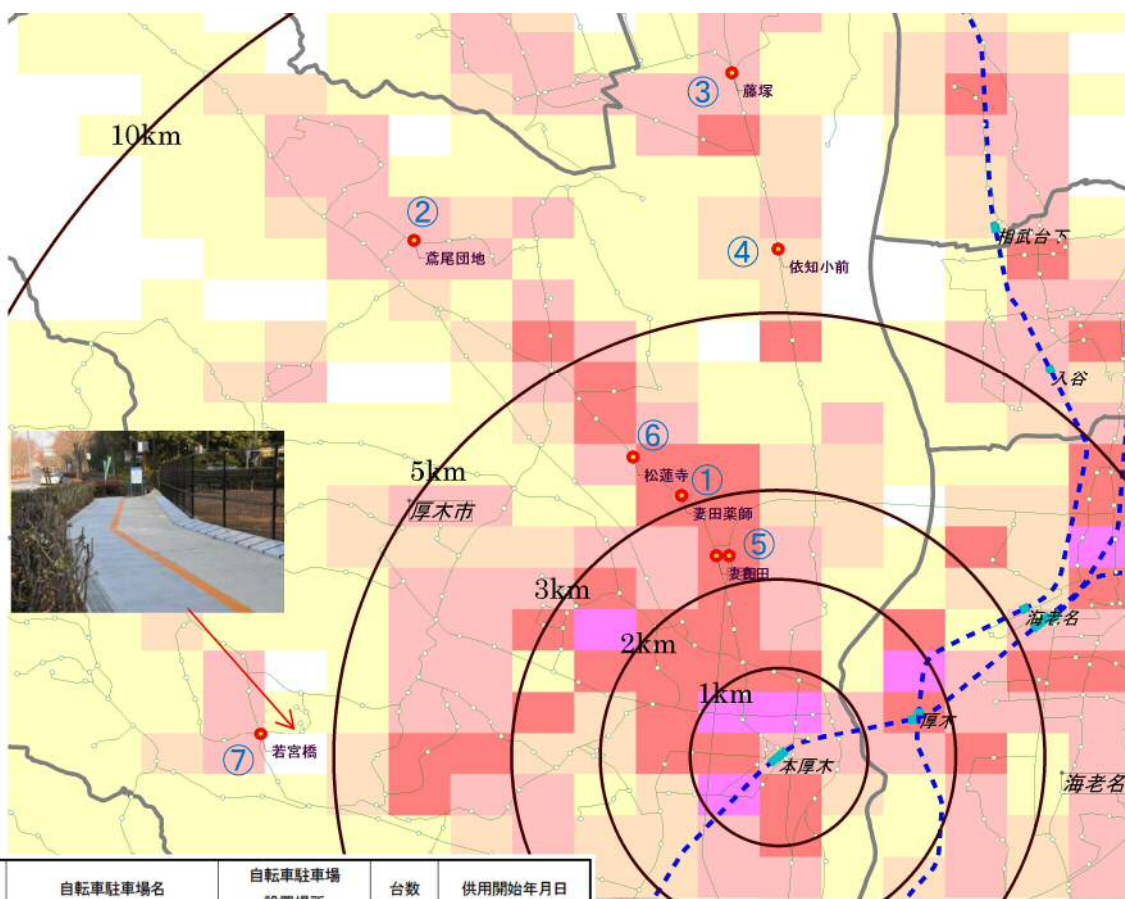
- ・首都圏におけるサイクル&バスライドの事例として、以下の5市町について、目的駅からの距離、人口密度、バス路線網との関係について特性を整理した。
- ・主要な鉄道駅からの距離帯は、最も近くても2km以遠のバス停に設置されており、1箇所あたりの平均収容台数は約43台、料金はいずれも無料である。
- ・また、バス系統が分岐・合流するバス停に駐輪場が設置されている事例が、複数の都市で見られた。これは、複数系統の利用機会があることにより、利用可能な運行本数や行先の選択肢が増え、単一系統のバス停より利便性が高いためと考えられる。

表 サイクル&バスライド用バス停整備事例の概要



都市名	主なバス事業者	主な目的地	駐輪場 設置バ ス停数	駐輪 可能 台数	料金	鉄道駅からの 直線距離帯
厚木市	神奈川中央交通	本厚木駅	7	483	無料	2～8km 圏
茅ヶ崎市	神奈川中央交通	茅ヶ崎駅	6	147	無料	2～4km 圏
愛川町	神奈川中央交通	本厚木駅・厚木 バスターミナル	4	75	無料	8～16km 圏
三鷹市	みたかシティバス、小 田急バス	三鷹駅、仙川駅	4	202	無料	2～4km 圏
吉川市	ジャパンタローズ・茨城 急行自動車・飯島興 業・東武バスセントラル	吉川駅・北越谷 駅・南越谷駅・三 郷駅	9	不明	無料	3～6km 圏






(1) 神奈川県厚木市

- ・厚木市では、駐輪場付きバス停が7箇所整備されている。
- ・主な行き先である小田急線本厚木駅から約2km～8km圏に設置されている。
- ・バス停周辺の500mメッシュ人口は1,000人以上の地域が多く、「藤塚」「若宮橋」「妻田」はバス系統の分岐交差点で、複数系統により運行本数が多いと考えられる。



	自転車駐車場名	自転車駐車場設置場所	台数	供用開始年月日
1	サイクルアンドバスライド 妻田薬師自転車駐車場	妻田薬師上りバス停 北側	154台	平成13年4月1日
2	サイクルアンドバスライド 鷺尾団地自転車駐車場	鷺尾団地バス折り返し 場内	47台	平成14年4月1日
3	サイクルアンドバスライド 藤塚公園前自転車駐車場	藤塚バス停前	35台	平成14年12月1日
4	サイクルアンドバスライド 依知小学校前自転車駐車場	依知小学校前バス停 歩道	50台	平成16年3月26日
5	サイクルアンドバスライド 妻田バス停前自転車駐車場	千無川上部を利用	52台	平成17年3月25日
6	サイクルアンドバスライド 松蓮寺バス停前自転車駐車場	神奈川中央交通敷地 内を利用	100台	平成18年4月10日
7	サイクルアンドバスライド 若宮橋バス停前自転車駐車場	若宮橋バス停前	45台	平成23年3月1日
	合 計		483台	

【公共交通網】
 鉄道路線網
 バス路線網

【500mメッシュ夜間人口】
 1～499人
 500～999人
 1,000～1,499人
 1,500～1,999人
 2,000人以上

注1) 鉄道・バス停は国土数値情報(H22)に一部追加
 注2) 500mメッシュ人口は平成22年国勢調査


 サイクル&バスライドバス停

図 神奈川県厚木市の駐輪場付きバス停

出所：厚木市くらし交通安全課HP

(2)神奈川県茅ヶ崎市

- ・茅ヶ崎市では、駐輪場付きバス停が6箇所整備されている。
- ・主な行き先であるJR茅ヶ崎駅から約2km～4km圏に設置されている。
- ・バス停周辺の500mメッシュ人口は1,000人以上の地域が多く、「湘南みずき」「堤坂下」はバス系統の分岐交差点で、複数系統により運行本数が多いと考えられる。
- ・「松風台」は終着点となっている。

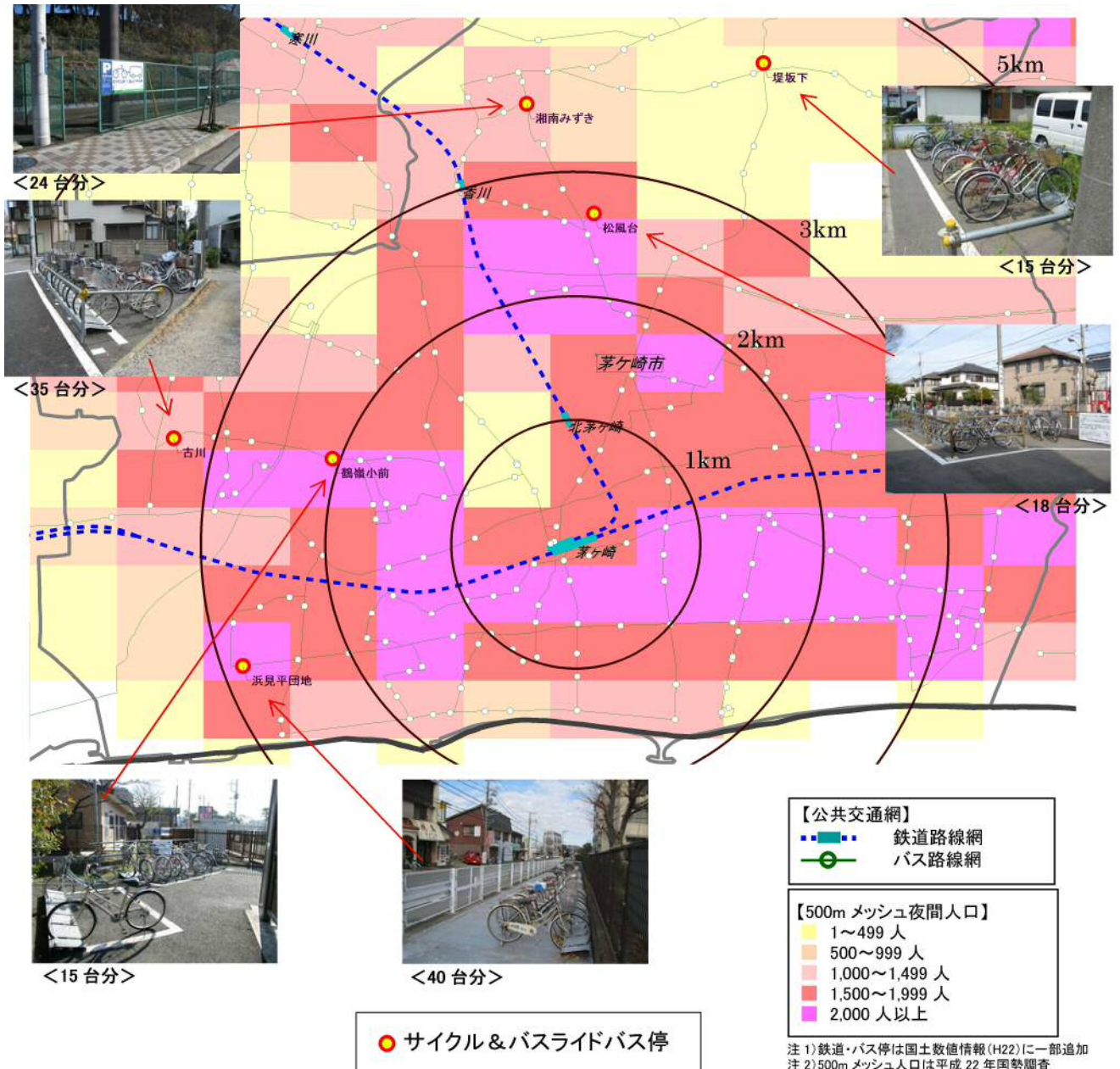
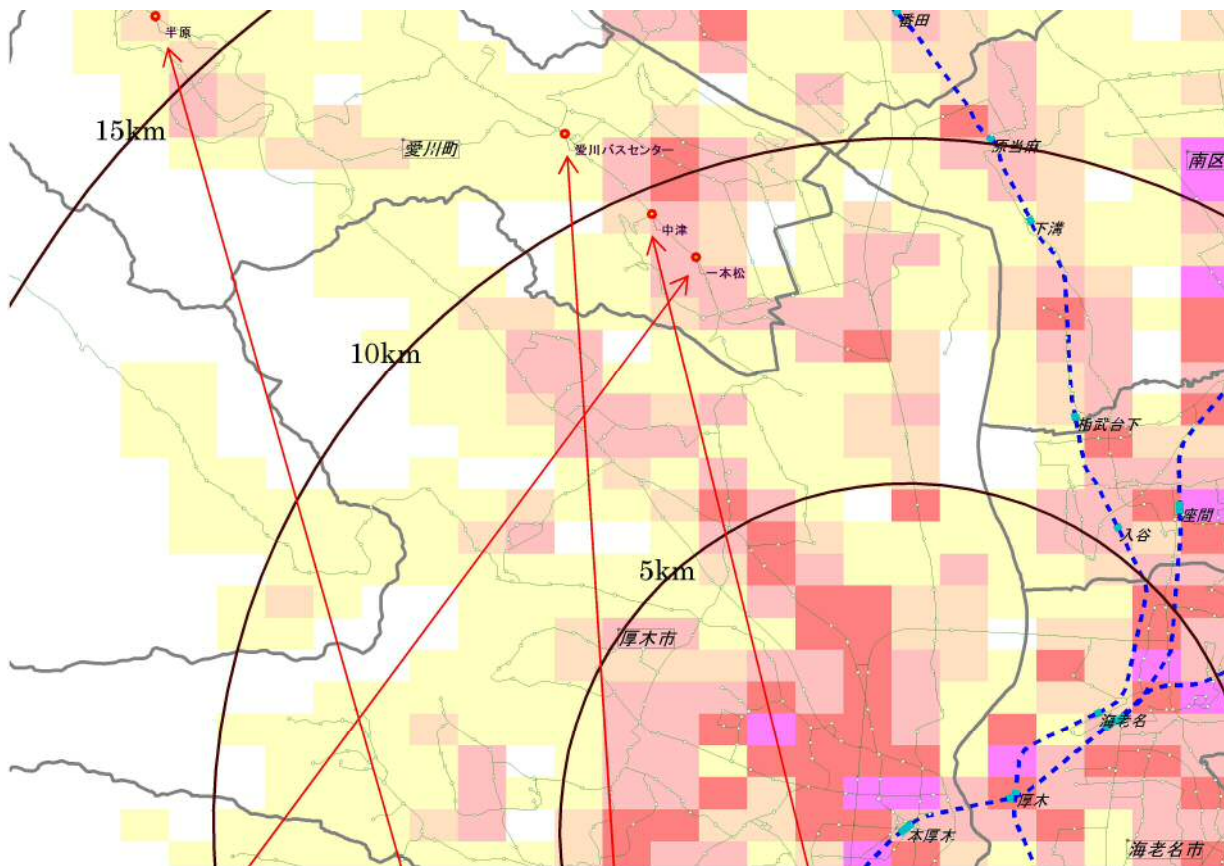


図 神奈川県茅ヶ崎市の駐輪場付きバス停

出所：茅ヶ崎市都市部都市政策課HP

(3)神奈川県愛川町

- ・愛川町では、駐輪場付きバス停が4箇所整備されている。
- ・主な行き先である小田急本厚木駅から約8km～16km圏に設置されている。
- ・バス停周辺の500mメッシュ人口は500人以上の地域が多く、「中津」はバス系統の分岐点で、複数系統により運行本数が多いと考えられる。



箇所名	中津交番北側	レインボープラザ駐車場内	愛川バスセンター内	中津バス停留所南東側
外観				
利用バス停	一本松	半原	愛川バスセンター	中津
駐輪台数	約20台	約25台	約20台	約10台

【公共交通網】
 鉄道路線網
 バス路線網

【500mメッシュ夜間人口】
 1～499人
 500～999人
 1,000～1,499人
 1,500～1,999人
 2,000人以上

注1) 鉄道・バス停は国土数値情報(H22)に一部追加
 注2) 500mメッシュ人口は平成22年国勢調査

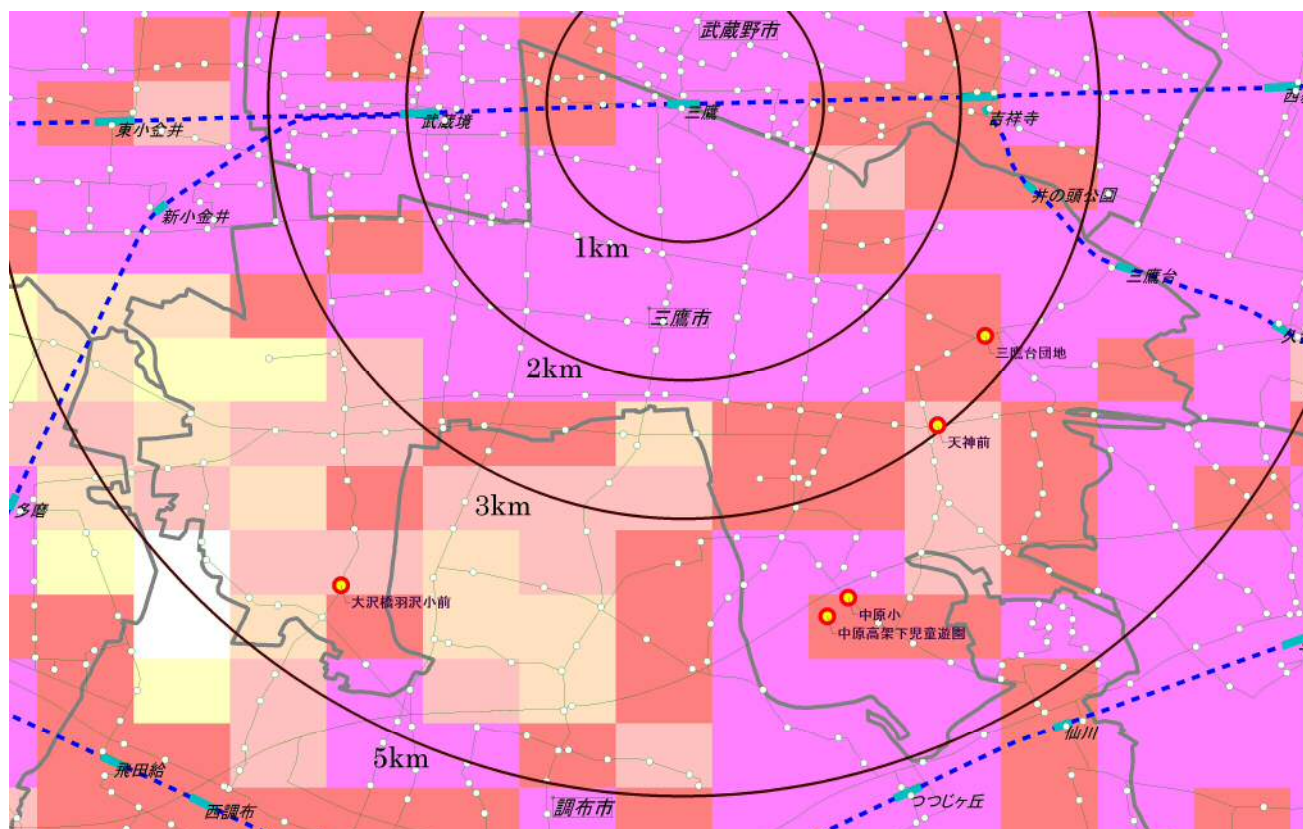
● サイクル&バスライドバス停

図 神奈川県愛川町の駐輪場付きバス停

出所：愛川町総務部企画政策課HP

(4) 東京都三鷹市

- ・三鷹市では、駐輪場付きバス停が4箇所整備されている。
- ・主な行き先であるJR三鷹駅から約2km～4kmに設置されている。
- ・バス停周辺の500mメッシュ人口は1,500人以上が多く、「三鷹台団地」「中原小・中原高架下児童遊園」はバス系統の分岐交差点で、複数系統により運行本数が多いと考えられる。



● サイクル&バスライドバス停

【公共交通網】

- 鉄道路線網
- バス路線網

【500mメッシュ夜間人口】

- 1～499人
- 500～999人
- 1,000～1,499人
- 1,500～1,999人
- 2,000人以上

注1) 鉄道・バス停は国土数値情報(H22)に一部追加
注2) 500mメッシュ人口は平成22年国勢調査

No.	名称	住所	面積 (㎡)	収容台数 (台)	(バス停)
1	新川天神社前	新川 2-1 先	99.99	無料 100	天神前
2	天文台下	大沢 2-21-3	150.81	無料 52	大沢橋・羽沢小学校前
3	牟礼交番前	牟礼 2-14 先	134.70	無料 50	三鷹台団地
合計		3か所	385.5	無料 202	

図 東京都三鷹市の駐輪場付きバス停

出所：三鷹市都市整備部道路交通課HP

(5) 埼玉県吉川市

- ・吉川市では、駐輪場付きバス停が9箇所整備されている。
- ・主な行き先であるJR吉川駅から約3km～6km圏に設置されている。
- ・バス停周辺の500mメッシュ人口は500人未満の地域が多く、「サービスセンター」はバス系統分岐点で、複数系統により運行本数が多いと考えられる。

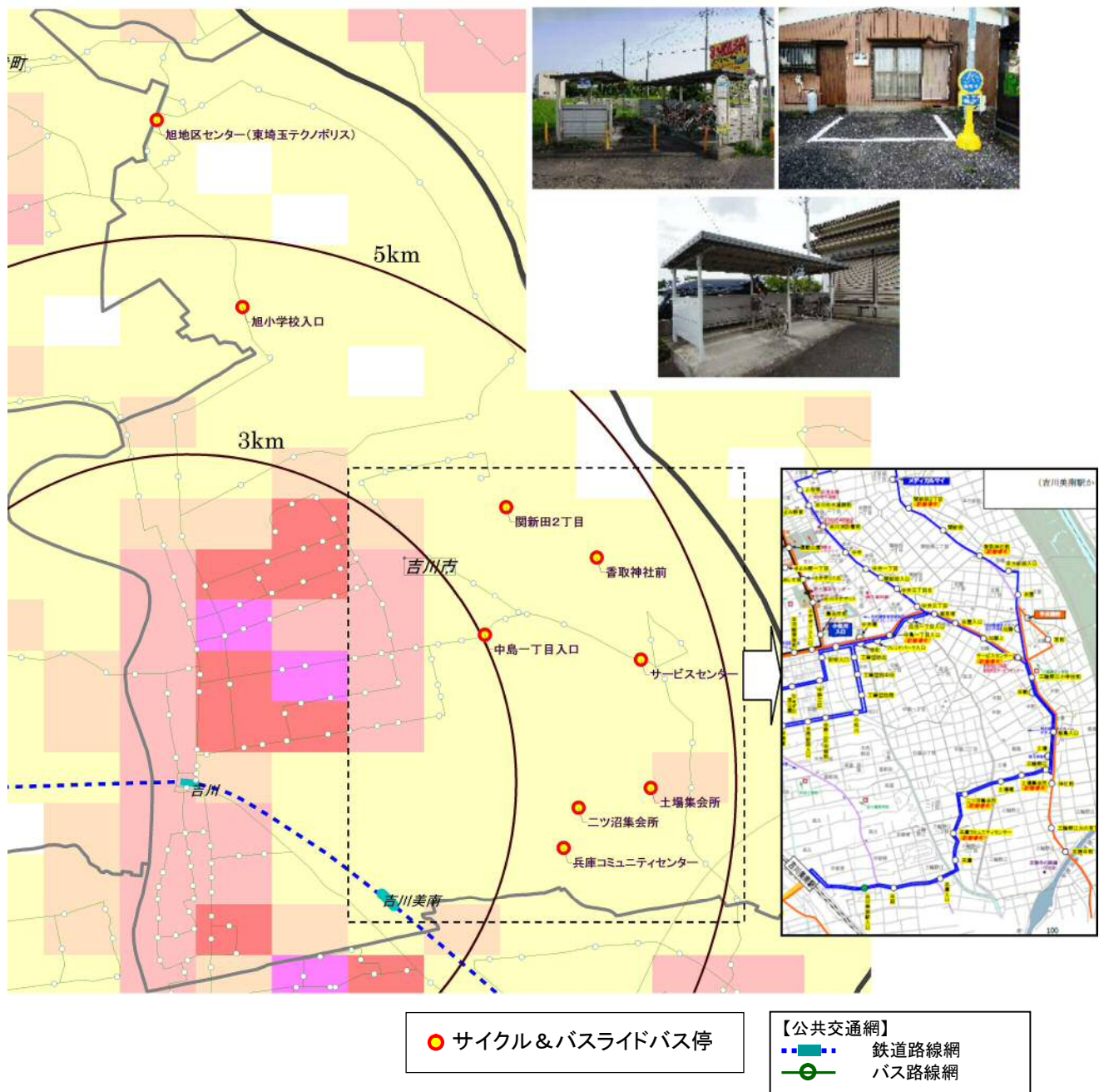


図 埼玉県吉川市の駐輪場付きバス停

出所：吉川市政策室HP

注1) 鉄道・バス停は国土数値情報(H22)に一部追加
 注2) 500mメッシュ人口は平成22年国勢調査

3. 鉄道端末交通手段の分担率(通勤・定期券利用者)

端末交通手段分担率をみると、1.0km未満では徒歩が9割以上を占めているが、1.0～2.0kmでは、徒歩が低下してバス・路面電車や自転車の分担率が高くなり、更に3.0km以上では、自転車が低下してバス・路面電車の分担率が4割以上を占めている。

これより、鉄道駅までのバス利用割合が高くなるのは、駅から2km以遠の地域と考えられ、このようなバス利用を補完するためのサイクル&バスライドについても、駅から2km以遠の地域で行われていると考えられる。

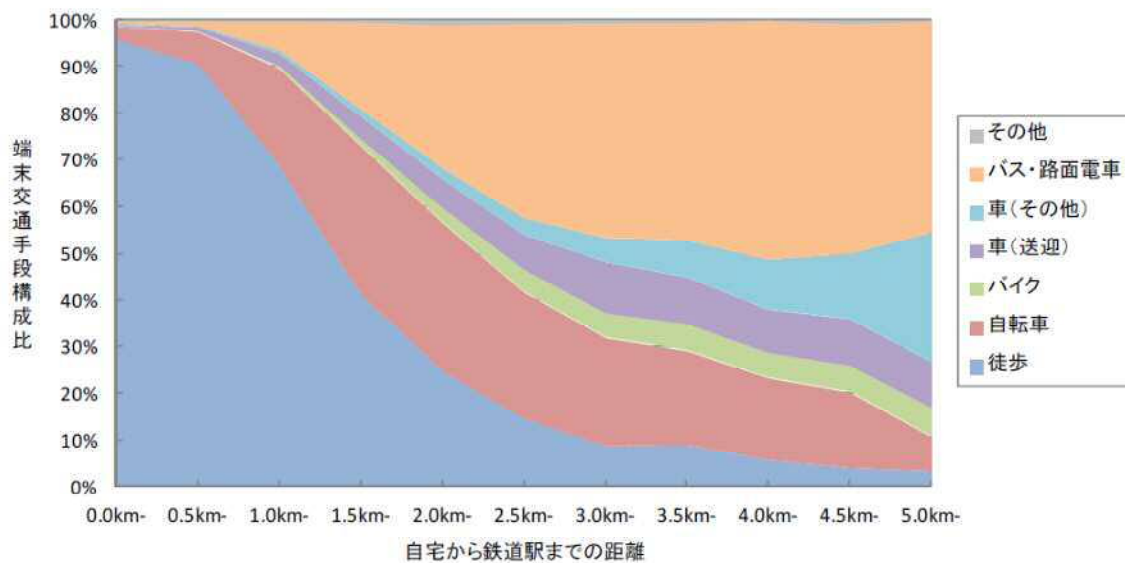


図 距離帯別自宅から鉄道駅までの交通手段分担率(通勤・定期券利用者、首都圏)

出典：第11回大都市交通センサス 平成24年度分析結果報告

4. 事例から見たサイクル&バスライドの適用条件

以上の事例整理より、サイクル&バスライドの適用条件は以下のように考えられる。

【サイクル&バスライドの適用条件】

① 鉄道駅から2 km 以遠の地区

鉄道端末交通手段として、バスの利用割合が高まり、徒歩や自転車の利用割合が低下してくる、鉄道駅から2 km 以遠の地区で考える。

② バス停から離れて居住者がいる地区

一般的にバス停徒歩圏は300m程度であり、自転車によるバス停までのアクセスは、それより離れた地区が対象となるため、バス停から300m以上離れても居住者がいる地区を対象として考える。

③ 複数バス系統が通るバス停や運行本数が多いバス停

バス利用者の利便性に配慮すると、できれば複数バス系統・行先の選択機会があるバス停や、運行本数が多いバス停を対象として考える。

5. 公共交通基本計画におけるサイクル&バスライドの候補地

一方、青梅市公共交通基本計画（平成 24 年度）では、以下の 3 箇所について、サイクル&バスライドの候補地として提案している。

【検討方針】

- 鉄道駅に近い地域では、直接自転車で鉄道駅まで向かうことができるため、鉄道駅から離れた地域を対象に検討する。
- サイクル&バスライドシステムのバス停は、最寄鉄道駅への迂回を小さくするため、公共交通空白地域と最寄鉄道駅を結ぶ方向において選定する。
- 駐輪施設は既存ストックの活用を考え、バス停近くの公共施設の利用を検討する。

【サイクル&バスライドの候補地(案)】

①「今井市民センター前」バス停(西武バス:河辺駅北口・入間市駅)

- 今井市民センター(図書館・体育館)との連携を図る。
- 施設に付属する既存の駐輪場の活用が考えられるが、バス停から 60m離れているため、可能であればバス停付近のスペースや駐車場の活用も考えられる。

②「今井三丁目」バス停(西東京バス:小作駅東口)

- 今井三丁目運動広場との連携を図る。
- 付属の駐輪施設がないことから、施設脇のスペースを活用するなどして、駐輪施設を設置する必要がある。

③「霞橋」バス停(都営バス:河辺駅北口・青梅駅、西東京バス:河辺駅北口・小作駅東口)

- 大門第2運動広場との連携を図る。
- 付属の駐輪施設がないことから、施設内に駐輪施設を設置する必要がある。

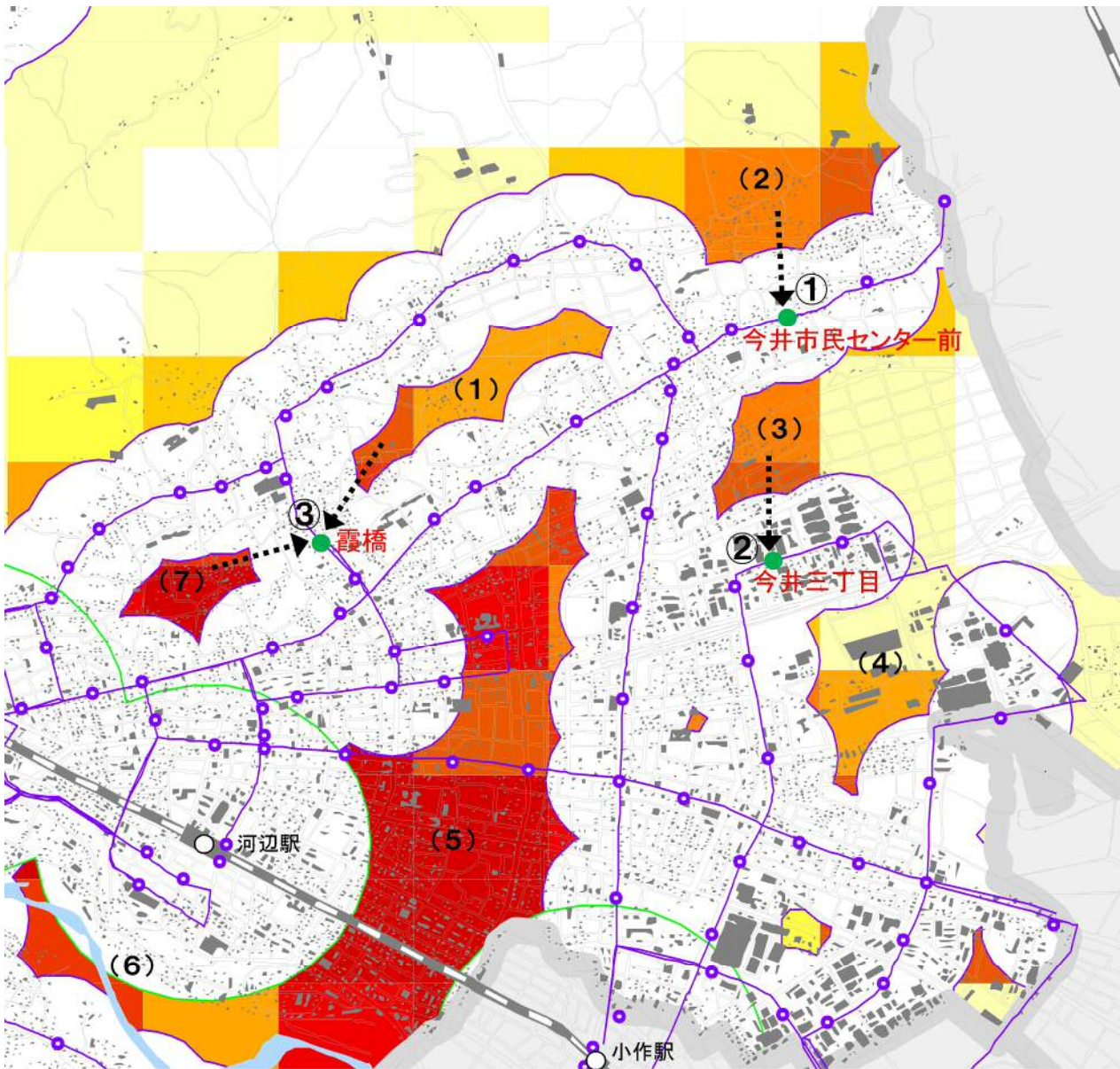
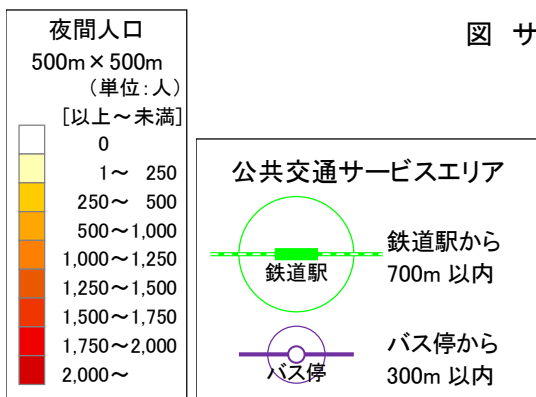


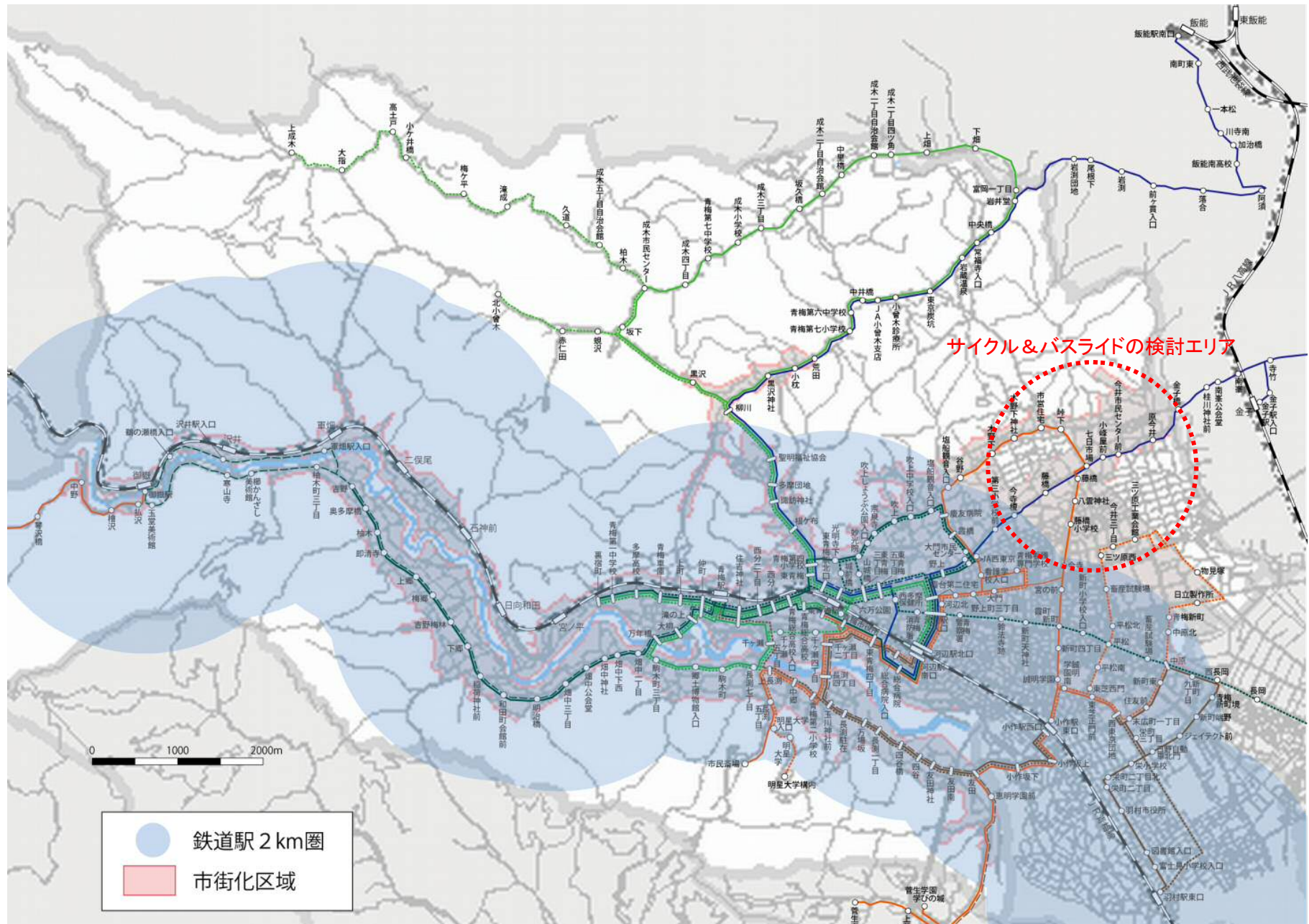
図 サイクル&バスライドの候補地



6. サイクル&バスライドの導入に向けた今後の検討

これらの候補地を先ほどの適用条件からみると、「③霞橋」については鉄道駅から2km 以内のエリアに含まれ、公共交通空白地域(1)が農用地で居住者がほとんどないことから、候補から除くこととする。

このため、サイクル&バスライドについては、公共交通空白地域(2)(3)を対象に、「①今井市民センター前」「②今井三丁目」など以下の検討エリアにおいて、地域の意向を確認しながら検討を進めていく。



サイクル&バスライドの検討エリア

0 1000 2000m

● 鉄道駅 2 km圏
 ■ 市街化区域